



# いばらき県議会だより

茨城県議会 検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています  
県議会携帯サイト <http://mobile.pref.ibaraki.jp/mobile/gikai/>  
「いばキラTV」 <https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています  
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会  
〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.207



## 茨城の春を楽しもう

### 笠間の陶炎祭(ひまつり)

期間:4月29日(月)~5月5日(日)

会場:笠間芸術の森公園(笠間市笠間 2345)

200軒以上の陶芸家・窯元・地元販売店などが、個性豊かな店作りと作品でお客様を迎えるという、他に類を見ない陶器の祭典です。

【問い合わせ】笠間焼協同組合 電話:0296-73-0058



### 笠間つつじまつり

期間:4月13日(土)~5月6日(月)

会場:笠間つつじ公園(笠間市笠間 616-7)

さまざまな種類のつつじ8,500株が山一面に植えられており、毎年まつりの時期になると色鮮やかに咲き誇ります。

【問い合わせ】笠間観光協会 電話:0296-72-9222



### 茨城県陶芸美術館(笠間市笠間 2345 笠間芸術の森公園内)

企画展:「第25回日本陶芸展」平成快挙録 茨城県作家・三連覇

4月27日(土)~7月7日(日)

重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を含む計150点の作品により、現代日本陶芸の最高水準を紹介いたします。

【問い合わせ】茨城県陶芸美術館 電話:0296-70-0011

## 第一回定例会の概要

平成三十一年第一回定例会は、二月二十七日から三月二十五日まで二十七日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、天皇陛下御即位三十年に際しての賀詞奉呈について、知事から、茨城県一般会計予算、消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例などが提出されました。また、議員から、茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例については、保健福祉医療委員会での審査を経て、委員から修正案が提出され、本会議において可決されました。

代表質問は、新しい県総合計画、県北振興、改正出入国管理法を見据えた支援体制、ドクターヘリの運航体制の充実などの項目について行われました。(二~三面)

一般質問は、アスリートの魅力を引き出すチームいばらき選手団ユニフォーム、県西地域の振興、日本一のサイクリング環境の構築などの項目について行われました。(四~六面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、県庁展望ロビーの改修、キャッシュレス決済の推進、茨城県男女共同参画推進条例の改正、農家の所得向上の実現見通し、偕楽園の魅力向上、横断歩道での一時停止率向上などが議論されました。(八~九面)

予算特別委員会では、就学前教育・家庭教育の推進、移動式オービスの導入推進、中高一貫校の現状と増設の狙いなどについて質疑が行われました。(七面)

今回の定例会では、予算、条例、人事、報告などの八十七件の議案が可決、同意、承認されました。

### 代表質問※(要旨)

**議員** 知事が県総合計画で目指す「県民が日本一幸せな県」とはどのような県で、その時の魅力はどのような状況になっているのか。そして、何を最も大きな課題と捉え、この四年間で何を達成しようとしているのか。

**知事** 私は、県民が自身の夢に向かって挑戦を続けられることが、日本一幸せな県につながるものと考えている。さまざまなチャレンジに取り組むことにより、将来的には、本県の魅力が高まり、国内外から選ばれる茨城となると考えているが、その実現に向けた大きな課題は、急激に変化する社会への対応である。この四年間でさまざまな種をまき、挑戦していく意識を県全体に根付かせていきたい。



森田 悦男 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

県総合計画  
「新しい茨城」への挑戦

## 第1回定例会の主な日程

平成31年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月27日(水) **本会議**  
(開会、知事提出議案説明)
- 3月4日(月) **本会議**  
5日(火) (代表質問・質疑)
- 3月6日(水) **本会議**  
7日(木) (一般質問・質疑)  
8日(金)  
11日(月)
- 3月13日(水) **常任委員会**  
14日(木)
- 3月18日(月) **本会議**  
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月19日(火) **予算特別委員会**  
20日(水)
- 3月25日(月) **本会議**  
(委員長報告、採決、閉会)

**議員** 知事 時代の変化に的確に対応し、これからの茨城を切り拓いていくため、平成三十年年度当初予算で本県を将来にわたって発展させるさまざまな取り組みに着手した。新年度は、そこでもいた種から出た芽を、大きく育てる年として位置付け、事業の選択と集中の徹底を図り、新しい茨城づくりへの挑戦を加速させることとした。

**議員** 新年度の予算について、知事は、どのような目的・目標をもって事業を推進していくのか。また、そのための予算を編成するに当たり、どのような考え方をもち臨んだのか。

**知事** 平成三十一年度予算編成方針と目指す事業推進

平成三十一年度予算編成方針と目指す事業推進

#### 小規模小中学校の希望的挑戦

**議員** 少子化の影響により、小中学校の統廃合が進んでいるが、少子化を、逆に今までできなかったことができるチャンスと捉え、小規模校の強みを生かした学校づくりが必要である。今後どのように小規模を生かした小中学校づくりに向けた希望的

### ● 質問者

- 3月4日(月)
- 森田 悦男(いばらき自民党)
  - 齋藤 英彰(県民フォーラム)
- 3月5日(火)
- 飯田 智男(自民県政クラブ)
  - 高崎 進(公明党)



虐待の撲滅に向けた取り組みを

挑戦をしていくのか。  
**教育長** きめ細かな指導が行いやすいことや、地域との連携を深めやすいなどの小規模校の強みを生かし、子どもたちを第一に考えた独自のカリキュラムや指導方法を工夫していくことが重要である。そのため、校長会などさまざまな機会を通して、情報発信を積極的に行うなど、質の高い教育環境の充実に向け引き続き支援していく。

「茨城県子ども虐待防止条例」を生かしての虐待撲滅推進

**議員** どんな理屈や事情があろうと、子どもへの虐待は絶対許されるものではない。尊い、幼い命を守るため、虐待の撲滅に向け、「茨城県子ども虐待防止条例」に基づき、どのような取り組みを推進していくのか。

**知事** 四月一日の条例施行を契機に、福祉相談センターから独立して中央児童相談所を設置するとともに、各児童相談所に「子ども虐待対応課」を新設する。また、児童福祉司の国基準を超える配置など体制強化を図るとともに、さまざまな機会を捉え

虐待防止の機運醸成を図るなど、虐待防止対策を推進していく。

#### 本県も絡む東京青森間リニア鉄道構想

**議員** 本県の未来の子どもたちが夢と希望を与え、本県を含む東日本の真の復興とさらなる発展のため、長期的な視野でリニア新幹線の東北への延伸に向け、行動を起こすべきではないか。

**知事** 本県も含めた太平洋沿岸を北上するリニア鉄道が実現さ

### 「産業の育成・振興に関する調査特別委員会」を設置しました

本県の人口は、前年比で一万五千人も減少するという非常事態と言える状況にあります。そのような中、「活力があり、県民が日本一幸せな県」をつくるには、県内産業を育成・振興することで県の財政力を強化し、社会福祉や教育などを向上させていくしかありません。その意味で、産業の育成・振興は、本県の浮沈を握る最重要政策と言えます。

県議会としては、この最重要政策が具体的にどのように展開されていくのか注視し、県民の声や地域の実情を執行部に伝え、これらの政策が本県経済を支えている事業者や起業家、新規参入者などに幅広く行き渡るよう、また、県土の均衡ある発展を目指すため、県北など特に厳しい状況に置かれている地域にも効果が及ぶよう適切な提言をしていく必要があります。

そこで、「県内産業の育成や振興に関する諸方策の在り方」について調査・検討を行う「産業の育成・振興に関する調査特別委員会」を三月二十五日の本会議において設置しました。委員の構成は十五名で、次の通りです。

委員長	山岡 恒夫	委員	磯崎 達也
副委員長	下路 健次郎	委員	齋藤 英彰
委員	海野 透	委員	半村 登
委員	森田 悦男	委員	田村 けい子
委員	伊沢 勝徳	委員	沼田 和利
委員	石井 邦一	委員	山中 たい子
委員	鈴木 定幸	委員	中村 はやと
委員	岡田 拓也		

#### 質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようにしております。

- 一括方式  
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求めめる方式。
- 分割方式  
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求めめる方式。

※【代表質問】…会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。

### 代表質問(要旨)



議員 齋藤 英彰  
県民フォーラム  
日上市選出  
一括方式

#### 県北振興

**議員** 県北振興に特効薬はなく、「負のスパイラル」を絶ち切るためには、県総合計画に基づき、地域の特色を生かした取り組みを着実に進めていくしかないと考えます。今後、どのように県北振興に取り組んでいくのか。

**知事** 県北地域が有する多様な地域資源を生かし、前例にとらわれず新しい発想で、これまでにない取り組みを全庁一丸となつて進めていくことが重要。このため「県北振興チャレンジプラン」の各種施策を着実に推進し、活力と魅力あふれる県北地域づくりに向け、私が先頭に



議員 高崎 進  
党  
明  
水戸市・城里町選出  
一括方式

#### ドクターヘリの運航体制の充実

**議員** 重複要請に対応できるように、防災ヘリの活用とともに、栃木県や福島県との広域連携エリアの拡大や埼玉県との連携を進め、運航体制を充実させる必要があるのではないか。

**知事** 今年七月から開始する防災ヘリの補完的運航の実施に向けて、万全な体制で運航できるように進めていく。他県との広

立つて、全力で取り組んでいく。

**待機児童対策**  
**議員** 今年十月から予定されている幼児教育・保育の無償化により、保育需要が高まり、待機児童問題の悪化が懸念される。今後、待機児童対策にどのような取り組みをいくのか。

**知事** 市町村との連携を密にし、今後の保育需要の動向を的確に把握し、適切な保育サービスの提供に努めていく。このため、県民のニーズに応じた多様な保育環境の整備や、総合的な保育人材の確保を推進するなどの施策を効果的に実施し、待機児童の速やかな解消を図っていく。

**民間企業における働き方改革の推進に向けた取り組み**  
**議員** 民間企業のワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、今後どう取り組んでいくのか。

**知事** 働き方改革に関する民間

域連携範囲の拡大は、重複要請の削減など具体的な効果を検証しながら検討を進めていく。

**SNSを活用したいじめ・自殺防止の相談体制の取り組み**  
**議員** 本県は全国比で若者の自殺率が高い。いじめや自殺の小さなシグナルをキャッチする上で有効な、SNSでの相談受け付けに取り組むべきではないか。

企業の主体的な取り組みへの支援や普及啓発のほか、改革に取り組む企業が人材を獲得しやすい環境を整備する。それにより、誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、健康で豊かな生活ができる「新しい豊かさ」の実現につなげていく。



さらなる待機児童対策を

**小児医療費助成制度の拡充**  
**議員** 経済的な負担を気にすることなく、必要な医療を早期かつ適切に受けられる環境をつくるのが、茨城の将来を担う「人材」の育成につながる。小児医療費助成制度は、十八歳の外来まで拡充する必要があると考え

るが、所見は。  
**知事** 小学六年生までとしている外来治療の対象を、十八歳まで拡充することは、まずは昨年十月に高校三年生まで拡充した入院治療の医療費助成の効果を



議員 飯田 智男  
自民県政クラブ  
常総市・八千代町選出  
一括方式

#### 改正出入国管理法を

**議員** 四月の改正出入国管理法施行を見据え、外国人に茨城を選んでもらえるよう処遇や生活環境、相談体制の充実など受け入れ体制づくりに県全体で支援すべきである。県は「(仮称)外国人材支援センター」を設置予定だが、その体制と支援策は

**知事** センターに外国人材の就業支援アドバイザーを配置し、外国人材の発掘から県内企業との就職マッチング、その後の相談対応までを一貫して行う体制を整備する。また、外国人に対するSNSなどを活用したPRを行い、働く場としての本県の

魅力を発信するなど、選ばれる茨城県づくりを進めていく。

**農業分野における外国人労働者の受け入れ**  
**議員** 農業分野への外国人労働者受け入れが始まるが、その雇用形態と県の対応・支援策は。

**知事** 直接雇用が原則だが、労働者派遣による受け入れも可能。適正な受け入れ環境が確保されるよう、JAなどと受け入れ推進のための体制を整備し、関係事業者に対し指導助言を行うなど、適正な受け入れへの環境整備をしっかりと進めていく。

**教育現場における外国人籍の子どもたちへの支援**  
**議員** 人口減少により地域の活力が失われる中、外国籍の子どもたちは地域の大切な宝だが、母国語も日本語レベルも多様なため、教育や学校の役割は非常に重要である。学校現場での支援と今後の支援体制強化策は。



農作業実習を行う技能実習生

**教育長** 日本語指導教員を配置し、一人一人に寄り添った支援充実を努めている。二〇一九年度から各学校に通訳・翻訳サポートスタッフや日本語指導の専門家を派遣するほか、進学ガイダンス開催や無料翻訳アプリの活用など支援体制の強化を図る。

(ほかに、AIの積極的な活用に向けた県の取り組み、災害に強い県土づくりなども質問)

### 予算特別委員会の新人事

二月二十七日の本会議で、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために予算特別委員会を設置しました。委員の構成は二十二名で、次の通りです。

委員長	常井 洋治	委員	磯崎 達也
副委員長	鈴木 将	委員	金子 晃久
委員	西條 昌良	委員	山野井 浩
委員	細谷 典幸	委員	設楽 詠美子
委員	戸井田 和之	委員	二川 英俊
委員	館 静馬	委員	白井 平八郎
委員	萩原 勇	委員	八島 功男
委員	島田 幸三	委員	村田 康成
委員	加藤 明良	委員	江尻 加那
委員	星田 弘司	委員	本澤 茂
委員	岡田 拓也	委員	豊田 茂



ドクターヘリを補完する防災ヘリの訓練の様子

※【改正出入国管理法】…新たな在留資格を創設し、外国人労働者の受け入れを拡大する法改正。国は人手不足が深刻な14分野で2019年4月から5年間、約34万人の外国人労働者受け入れを計画している。

### 一般質問(要旨)

#### ●質問者

3月6日(水)

萩原 勇 議員  
(いばらき自民党)

高橋 勝則 議員  
(いばらき自民党)

外塚 潔 議員  
(無所属)

3月7日(木)

田村 けい子 議員  
(公明党)

中村 修 議員  
(いばらき自民党)

山中 たい子 議員  
(日本共産党)

3月8日(金)

星田 弘司 議員  
(いばらき自民党)

二川 英俊 議員  
(県民フォーラム)

水柿 一俊 議員  
(いばらき自民党)

3月11日(月)

岡田 拓也 議員  
(いばらき自民党)

川口 政弥 議員  
(自民県政クラブ)

舘 静馬 議員  
(いばらき自民党)



萩原 勇 議員  
いばらき自民党  
龍ヶ崎市・利根町選出  
一括方式

アスリートの魅力を引き出す  
チームいばらき選手団ユニフォーム

議員 茨城国体を機に刷新される選手団ユニフォームは、機能性もとよりデザイン性も求められる。さらに、本県の魅力や先進性を伝える象徴にもなると考えるが、どのような方針で作製していくのか。  
知事 選手の意見も聴きながら、既存の枠にとらわれない、機能性・デザイン性に富んだものとした。さらに、ユニフォームを通じて変革を恐れず努力する茨城の意気込みが、多くの方に伝わるようデザインを工夫し作製していく。

利根町「桜つつみ」を生かした観光振興

議員 春に美しい桜のトンネルとなる利根町「桜つつみ」のように、地域の観光資源を磨き上げることが県全体の魅力向上にもつながると考える。今後どう取り組むのか。営業戦略部長 利根町と連携して、日本一の桜の名所を目指す地元活動の発信や、フォトコンテストへの応募の働き掛け、ロケ候補地としての紹介などにより、知名度向上を図り、「桜つつみ」を新たな観光資源とすることを目標としていく。  
(ほかに、未活用土地の活用促進、在宅医療の推進なども質問)



春を迎えた利根町「桜つつみ」



高橋 勝則 議員  
いばらき自民党  
古河市選出  
一括方式

県西地域の振興

議員 にぎわいを生み出す拠点の整備により、県西地域はさらなる飛躍が期待できると考える。県の持つノウハウの活用も期待するが、県西地域の振興について所見は。  
知事 既に県西地域の市町村では、国の制度などを活用した特色あるまちづくりが進められている。県も参考となる事例などの研究を進める。また、新総合計画のゾーンごとに開催する意見交換などを通じ、互いに知恵を出し合いながら、県西地域の振興に全力で取り組む。

農産物の県内加工と販売に向けた取り組み

議員 全庁的な連携を図りながら、全国的なPRにつながる商品づくりや県内の農産物加工の推進に取り組むべきと考えるが、所見は。  
農林水産部長 食品企業や農業者などのニーズ調査や、県内食品加工業者情報のデータベース化を進め、支援機関と共有することでマッチングを支援し、県産農産物の認知度・売り上げ向上につながる商品づくりや県内加工を推進する。  
(ほかに、動物取扱業者への適正な対応、国道一二五号古河拡幅の整備なども質問)



県西地域ににぎわいを生み出す拠点の形成を



田村 けい子 議員  
公明党  
つくば市選出  
一括方式

健康長寿日本一に向けた取り組み強化

議員 人生百年時代を迎える中、健康寿命延伸には要介護状態手前のフレイル予防が重要である。栄養・口腔ケアなどの支援のほか、高齢者の社会参加を促す取り組み強化が必要と考えるが、所見は。  
知事 運動、栄養の取り組みを通じたフレイル予防を進めるほか、高齢者が健康づくりの担い手として社会参加できる仕組みをつくる。二〇一九年度には幅広い世代の県民が活用できる健康アプリを提供するなど健康長寿日本一を目指す。

県におけるSDGs推進体制

議員 誰一人取り残さない社会の実現のためには、地方創生を深化させる自治体SDGsの推進が重要である。今後、どのような体制で推進していくのか。  
知事 SDGsの理念を県総合計画に意識して盛り込んだほか、計画の着実な推進のため新たな推進組織を設置する。加えて市町村への普及啓発を進め、SDGsパブリックを活用した情報発信なども検討し持続可能な社会づくりを目指す。  
(ほかに、共助社会づくりの推進、児童虐待防止対策なども質問)



SDGsの推進を(17の目標を表すSDGsバッジ)



外塚 潔 議員  
無所属  
かすみがうら市選出  
一括方式

日本一のサイクリング環境の構築

議員 タンDEM自転車走行解禁を機に、つくば霞ヶ浦りんりんロードについて、どう日本一のサイクリング環境の構築に取り組むのか。政策企画部長 各種イベントが開催されるかすみがうら市の歩道公園での試乗会などを通じ、サイクリストや観光客だけでなく、視覚障害者やパラスポーツ関係者へもPRすることで、本県の観光振興や障害のある方々にもやさしい県としてのイメージアップにつなげていきたい。



複数乗車による公道走行が解禁されるタンDEM自転車

教員の機動的な配置

議員 年度途中で教員の欠員が生じた場合の対応は。  
教育長 臨時的任用職員を希望する者の情報を県全域にわたるデータベース化することで、年度途中の任用にも速やかに対応できるように努めている。また、育児休業取得者の代替については、二〇一九年度から任期付教職員を任用することとし、時期を逸することなく代替者を確保していく。  
(ほかに、イノシシなど鳥獣被害対策、霞ヶ浦二橋の整備なども質問)

### 福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催されました

二月六日から七日にかけて、群馬県高崎市において、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が開催され、川津隆議長と福地源一郎副議長が出席しました。  
初日の会議では、「議員発議条例について」をテーマとして協議が行われ、全国都道府県議会議長会協議会調査部長から、議員による政策立案の意義と全国的な状況についての講演が行われた後、各県の取り組み状況などについて意見交換を行いました。  
意見交換では、川津議長が「茨城県犬猫殺処分ゼロを目指す条例」や「茨城県がん検診を推進し、がんとうき合うための県民参画条例」などについて、上程までの経緯や取り組み内容、施行後の成果などを発表し、活発な議論が行われました。  
また、翌日は、群馬県内外から出荷された牛や豚の解体・加工、卸売りをしている(株)群馬県食肉卸売市場を視察し、高度に衛生管理された施設における食肉加工の取り組みなどの説明を受けました。



会議に参加する川津議長(左側)と福地副議長(右側)

### 一般質問(要旨)

**知事** 厚生連における関係市や地元医療機関などの協議を踏まえ、地域の医療機能が確保されるよう調整を図る。筑波大学附属病院には、鹿行地域での医療提供体制が確保されるよう働き掛けていく。

**議員** なめがた地域医療センターでは、本年四月から入院病床を減らすなどの検討が進められている。厚生連<sup>※2</sup>に対し医療体制の縮小・廃止の見直しを、筑波大学附属病院に対し医師派遣の引き上げの撤回を要請すべきだが、所見は。

#### なめがた地域医療センターの医療体制



議員 山中美穂  
党出 産選 共市 産選 日つ ば市 一括方式

**議員** いじめ防止対策は早期発見と未然防止に尽きると考える。学校現場でどのような取り組みがなされ、新たに作成した「いじめの重大事態対応マニュアル」をどのように活用していくのか。

**教育長** 学校では互いを大切に思う人間関係づくりに取り組むほか、スクールロイヤー<sup>※1</sup>を活用した授業を実施した。また、取手市の事業で課題となった県と市の連携強化などをマニュアルに盛り込み、関係者に周知徹底を図っていく。

#### いじめ防止対策



議員 中村修  
党出 自民 ばらき 市選 取手 一括方式

(ほかに、国民健康保険税の引き下げ、県営住宅条例の見直しなども質問)



鹿行地域の医療で重要な役割を担うなめがた地域医療センター

**知事** 参加者から多くの質問、意見が出され、関心の高さを改めて実感した。出された意見などを県原子力安全対策委員会の審議に反映し、安全対策に取り組みでいく。

#### 東海第二原発の再稼働

**議員** 先般開催された新規規制基準適合性審査の説明会で、原子力規制庁は無責任な回答を繰り返した。質問も打ち切れられ、とても県民の意見を聞いたとは言えないが、今回の結果をどう受け止めるのか。

(ほかに、イバラキセンスによる魅力発信、高等学校を核とした小・中学校との連携なども質問)



県立消防学校(茨城町)

**知事** 県保有公共施設は、原則、目標使用年数を八十年としている。このため長寿命化を基本に改修しつつ、教育訓練施設と防災拠点として今後の在り方を検討していく。

#### 県立消防学校の在り方

**議員** 県立消防学校は消防職団員の育成だけでなく、防災拠点としても整備が必要だが、老朽化が進んでいる。建て替えを含めた今後の在り方を、どのように構想し、実現させていくのか。

**保健福祉部長** 医学的リスクの少なくない方への接種となることなどを踏まえると、制度化には相当の慎重さを要すると考える。一方、再接種の助成制度を始めた市町村の考え方や、国の動向などについて、市町村との情報共有を図る。

**議員** 骨髄移植などの医療行為によりこれまでの予防接種で獲得した免疫が失われ、医師の判断により再度予防接種を受ける方に対し、その費用の助成制度を導入すべきと考えるが、所見は。

#### 特別な事情による予防接種の再接種費用助成



議員 二川英俊  
県民フォーラム 県民フォーラム 市選 市選 一括方式

**知事** 昨年八月にプロジェクトを立ち上げ、機運醸成から財政支援まで総合的な取り組みを進めている。二〇一九年度は、都内でマッチングを開催するなど、参入促進とネットワーク構築を進める。また、四月にコンソーシアム<sup>※3</sup>を組織し、財政支援を拡充することで、宇宙ビジネスの創出を促進する。

**議員** 本県は宇宙開発で大きな役割を果たしてきた。その強みを生かし、将来有望な宇宙ビジネスの支援に、どう取り組んでいくのか。

#### 茨城の宇宙ビジネスの今後の展開と可能性



議員 星田弘司  
党出 自民 ばらき 市選 つくば 市選 分割方式

(ほかに、生活排水対策、上下水道の広域化・共同化なども質問)



民間企業の協力を得たプログラミング教育教員研修の様子

**教育長** 外部専門家の協力を得た授業づくりや映像教材の作成とオンラインでの配信などに取り組む。企業や大学との連携を深め、専門性を有する人材の確保に努める。

#### プログラミング教育

**議員** プログラミング教育の必修化に当たり、教員の指導力向上とともに、学校や教員により格差が発生しないようにすべき。また、外部講師の協力など、より高度で充実した教育を全県的に行うべきと考えるが、今後の取り組みは。

(ほかに、G20大臣会合の開催を通じた茨城の発信、タンデム自転車公道走行なども質問)

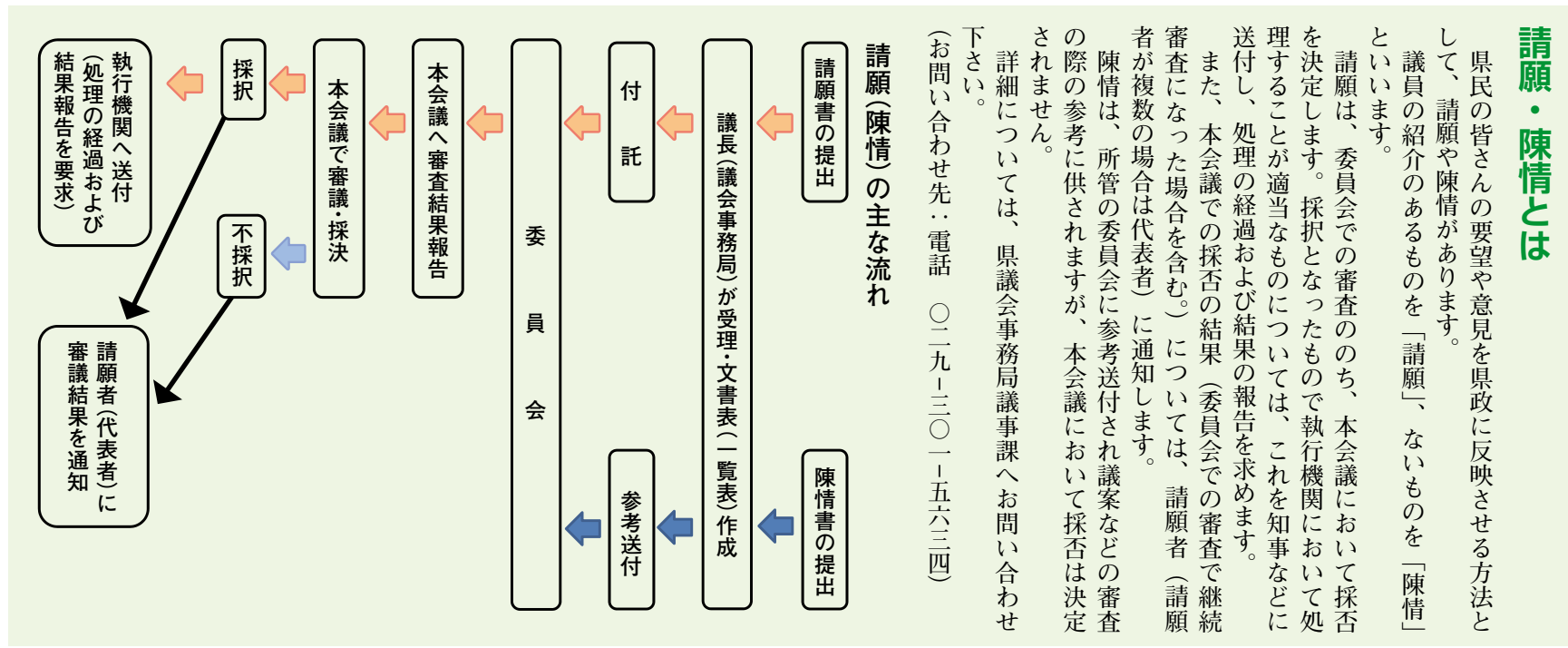


「宇宙といえば茨城」という創造拠点の形成を(JAXA提供)

**知事** がん対策には、検診や精密検査の受診率向上が重要。また、ウィッグなどの購入費助成事業はさらなる充実が必要と考えるが、総合がん対策にどう取り組むのか。

#### 総合がん対策

**保健福祉部長** 検診は、引き続き普及啓発による理解促進に努め、精密検査は、目標の受診率九十%に向け対策を強化する。ウィッグなどの購入費助成を拡充し、妊よう性の温存<sup>※4</sup>は、対策を検討する。



※1【スクールロイヤー】…いじめの予防教育や学校における法的相談への対応等を行う弁護士。  
 ※2【厚生連】…茨城県厚生農業協同組合連合会(JA茨城厚生連)の略称。土浦協同病院なめがた地域医療センターの運営主体。  
 ※3【コンソーシアム】…複数の団体や企業が集まり結成され、共通の目標を持って共同の事業などを行う組織。

### 一般質問(要旨)



水柿 一俊 議員  
いばらき自民党  
筑西市選出  
一括方式

#### 次世代施設園芸の推進

議員 今後の野菜生産には、ICTを活用した高度環境制御など、少ない労力で高い生産性を実現する「次世代施設園芸」の取り組みに力を入れる必要があると考えるが、どう推進していくのか。

農林水産部長 県内約五カ所に高度環境制御装置を導入したモデルハウスを設置し、データの収集と分析に基づき、技術指導などに取り組む。また、自らハウス整備に取り組み農業者に対し、国の交付金を活用できるように支援していく。

#### 教員の負担軽減に向けた外部人材の活用

議員 教員が日々の事務的業務に追われ、本来業務ができないのではと懸念する。事務的業務を行う外部人材の活用などにより、教員の負担を軽減すべきと考えるが、今後、どう進めていくのか。

教育長 モデル校を指定し、業務の集約化や定型化、外部委託などの実証研究を進め、必要な環境整備に取り組み。また、国補事業を活用した外部人材の活用を検討していく。

(ほかに、認知症サポーターの活用、儲かる農業の実現なども質問)



高度環境制御施設での研修の様子



川口 政弥 議員  
自民県政クラブ  
取手市選出  
一括方式

#### 常磐線メトロフロントゾーンの地域振興の考え方

議員 常磐線メトロフロントゾーン※の振興を図る上で、常磐線の戦略的な活用は不可欠だと考える。この地域の振興の考え方は。

政策企画部長 常磐線の充実や利便性の向上を目指し、JR東日本への要望や利用促進活動などにしっかりと取り組む。また、市町村との意見交換会を通じて、地域が有するポテンシャルを生かし、都市と自然が調和した魅力あふれる地域として一層発展するように、知恵を出し合って取り組む。

#### 公立中高一貫教育の在り方

議員 中高一貫教育校の十校設置の政策について、科学的根拠や費用対効果の視点での検証内容は。

教育長 通学実態を基に県内を十二エリアに分け、中高一貫教育校が地域で中核的な役割を果たすことができるよう、各エリアに設置することとした。地域内の交流の活性化や教育の幅の広がりなどが期待できるため、費用に対する効果は十分にあると考えている。



常磐線の戦略的な活用

#### 「国体・障害者スポーツ大会推進協議会」を設置しました

茨城国体・全国障害者スポーツ大会の開催が迫る中、県議会としても自ら率先して、両大会の成功に向けた取り組みを推進していく必要があることから、議会での協議などの場として、三月二十五日の本会議で、議長を会長とし、全議員を構成員とする「国体・障害者スポーツ大会推進協議会」を設置しました。



岡田 拓也 議員  
いばらき自民党  
高萩市・北茨城市選出  
一括方式

#### フィッシング・レジャー振興

議員 本県では、釣りが観光資源として十分注目されてこなかったと感じる。漁業者に配慮したマナーの啓発と併せ、フィッシング・レジャー振興に取り組みで欲しいと考えるが、どう進めるのか。

営業戦略部長 新たな釣り客獲得や観光周遊に向け、釣り体験メニューの充実、食や観光スポットの情報提供を進めていく。また、釣りのマナー・ルールの啓発も重要であるため、ホームページなどでの効果的な情報周知にも努める。

#### 教員確保の推進

議員 近年の教員志願者数低下は教員確保緊急事態とも言える。中高生から、教えることや教職の魅力に気付く取り組みを進めるべきと考えるが、どう取り組むのか。

教育長 子どもたちに、何より、教員になりたいという気持ちを持つことが大切であると考えている。今後、人に教える体験をより多く提供し、教える楽しさや教員の魅力を伝え、教員確保に努める。

(ほかに、包括的な里親養育支援の在り方、横断歩道での歩行者優先意識の認知向上なども質問)



那珂川における釣り風景



館 静馬 議員  
いばらき自民党  
水戸市・城里町選出  
分割方式

#### 偕楽園の有料化と魅力向上

議員 偕楽園の有料化などに当たっては、いろいろな案がある中で、知事がきちんと最終判断すればよい。ただ県が一方的に決めるのではなく、偕楽園公園魅力向上懇談会を開催し、市民県民の意見を聞きながら、柔軟な姿勢で臨んでほしいと考えるが、所見は。

知事 偕楽園の有料化と魅力向上策について、今後、魅力向上懇談会も含めて幅広い方々からしっかりと意見を聞きながら、中身を詰めていきたい。

#### 「食」をメインとした観光振興

議員 本県の観光振興を図る上で、県産食材を一定割合以上使用している店が登録されたグルメサイトの立ち上げを提案するが、所見は。

営業戦略部長 民間の飲食店検索サイトと「観光いばらき」ホームページとのリンクを検討していく。また、県内の飲食店などに対し、検索サイトの基本情報に、使用している県産食材の情報を盛り込んでもらえるよう働き掛けていく。

(ほかに、これからの医師確保対策、特別支援教育の新たな体制づくりなども質問)



観梅客でにぎわう偕楽園

#### 「茨城県議会ICT化検討会議」を設置しました

近年、社会全体のICT化が進展しており、県議会においても、議会審議の充実や議会運営の効率化・活性化に資するICTの導入について検討を行うため、三月二十五日の本会議で、議長長の諮問機関として「茨城県議会ICT化検討会議」を設置しました。委員の構成は十二名で、次の通りです。

議長	白田 信夫
副議長	田口 伸一
委員	葉梨 一衛
委員	小川 一成
委員	西野 真理子
委員	安藤 真理子
委員	二川 英俊
委員	川口 政弥
委員	八島 功男
委員	坂本 隆司
委員	江尻 加那
委員	外塚 潔

ことば ※【常磐線メトロフロントゾーン】…新たな県総合計画に基づく地域区分の一つで、主に取手市から石岡市までの常磐線沿線のエリア。

# 予算特別委員会

## ●質問者

3月19日(火)

- 加藤 明良 (いばらき自民党)
- 設楽 詠美子 (県民フォーラム)
- 金子 晃久 (いばらき自民党)
- 八島 功男 (公明党)
- 磯崎 達也 (いばらき自民党)
- 3月20日(水)
- 本澤 徹 (無所属)
- 山野井 浩 (いばらき自民党)
- 江尻 加那 (日本共産党)
- 臼井 平八郎 (自民県政クラブ)
- 館 静馬 (いばらき自民党)

り縮まりの場所を必要に応じて臨機応変に変更することが可能となり、速度抑制効果が期待できることが挙げられる。今後、他県での運用実態も踏まえつつ、前向きに検討していく。

(ほかに、准看護師養成所の継続支援、県立高校へのデュアルシステム<sup>※2</sup>導入なども質問)

**金子晃久委員(自民)** 中高一貫校増設の狙いは。また、地域の学校との共存はどのように考え、地域の中での学びは具体的にどう展開していくのか。成果の検証はどのように行うのか。

**教育長** 既設の中高一貫校で、課題解決能力の育成などに優れた実績が出ている。地域のニーズに対応し、地域の中核を担う人材育成のため設置を進めていく。地元中学校との連携の在り方などは開設準備委員会で検討していく。地域での学びは、さまざまな団体と連携して学校ではできない体験・活動に取り組み。成果は出口だけでなく、授業手法がどれだけ良い影響を子どもに与えるかの検証も行っていく。

(ほかに、部活動の在り方、県立高等学校の魅力づくりなども質問)

**八島功男委員(公明)** 提出された霞ヶ浦水質保全条例改正案は、行政指導の限界を行政処分の追加で補おうとするものである。流域の小規模事業者への規制強化の背景と目的は。霞ヶ浦水質浄化にかける意気込みと併せて伺う。

**県民生活環境部長** 平成十九年の条例改正後、小規模事業所に排水基準遵守を義務付け、違反者には行政指導をしてきた。その後の実態調査や環境保全調査特別委員会提言を踏まえ、排水基準遵守の徹底、流入負荷量の削減を目的として本改正案を提出した。世界湖沼会議の議論や霞ヶ浦宣言を踏まえ、負荷削減対策を着実に進め、水質改善に全力で取り組んでいく。

(ほかに、本県財政運営、レンコン生産の振興と課題なども質問)

**磯崎達也委員(自民)** 茨城経済ミッション<sup>※3</sup>やロシアメディアの報道により、本県はロシアからの注目を集めている。この機を捉え、富裕層向けの現地商談会に参加するなど、ロシアからの誘客促進を積極的に図るべきと考え、今後の取り組みは。

**営業戦略部長** 二月に開設したロシア語版の観光ホームページを活用し、ロシア人観光客が好む観光情報を強力にPRしていく。また、本県を周遊・宿泊するツアー造成にも積極的に取り組んでいく。商談会への出展も視野に入れないながら、輸出促進にもつながる観光戦略を練った上で、誘客に取り組む。

(ほかに、農水産物の輸出拡大、サイクリングを見据えた県道水戸那珂湊線の整備なども質問)

**本澤徹委員(無所属)** 耕作放棄地対策や、田んぼから畑への転換を望む農家などへの支援に向け、農地中間管理機構関連農地整備事業の活用をどう進めるのか。

**農林水産部長** 二〇一八年度に創設された当該事業は、対象農地全てを農地中間管理機構<sup>※4</sup>に貸し付けるなど、一定の要件の下、農家の費用負担を求めずに基盤整備が可能となり、耕作放棄地対策として有効な制度と考える。県では、農家や土地改良区などへ制度の普及啓発を図るとともに、農家からの相談に対応しつつ、地元の合意形成に向けた調整や事業計画の提案を行うなど、早期の事業化を進めていく。

(ほかに、鹿行地域の医療体制、選挙制度の適切な運用なども質問)

**山野井浩委員(自民)** 新学習指導要領により、小学校で英語が教科化される。世界に通用する英語が身に付くよう、単語や文法を覚えるだけでなく、相手とコミュニケーションが取れるような教育を行うべきと考えるが、今後、どのような英語教育を行っていくのか。

**教育長** 小学校では「聞くこと」「話すこと」を中心に、英語に慣れ親し

ながら学習への動機付けを高め、「読むこと」「書くこと」を加え総合的に学習を進めていく。ALT<sup>※5</sup>なども活用し、英語の知識や技能の習得をゴールとせず、言葉として英語を使って話す体験を通して、話す喜びが身に付くような教育をしていきたい。

(ほかに、都市軌道道路の整備、文化財の保護なども質問)

**江尻加那委員(共産)** 県が防災体制を構築するなどと言っているうちに、日本原電は本格的に再稼働を目指すことを表明した。東海第二原発は、大規模地震が多発する中央構造線の北側というリスクの高い場所に立地しているが、県原子力安全対策委員会における安全対策の検証はどうなっているのか。

**知事** 地震対策では発電所周辺の断層などについて、津波対策では想定する津波の規模などについて、日本原電から説明を聴取の上、審議してきた。委員からは数々の意見が出されており、先般の住民説明会での意見などとともに、今後しっかりと審議していきたい。

(ほかに、東海第二原発をめぐる県民意見の聴取と反映、児童相談・児童虐待対策なども質問)

**臼井平八郎委員(自民)** 近年、海外の医科大学で学ぶ日本人留学生が東欧を中心になん年々増加していると伺っている。今後どのように外国からの医師

の受け入れ推進を図っていくのか。

**知事** 昨年四月にハンガリーを訪問し、国立医科大学関係者や日本人留学生に対し、修学研修資金貸与制度などを直接PRした。今後はこの制度の活用を一層促進し、将来県内で勤務する医師を一人でも多く確保するほか、医療機関との連携による受け入れ体制の一層の整備などに取り組み、外国からの医師の受け入れを推進していく。

(ほかに、これまでのトップセールスの成果と二〇一九年度への意気込み、ジャイアントパンダ誘致と知事のこれからの中国に対する取り組みも質問)

**館静馬委員(自民)** 昨年の一般質問において知事は、動物福祉の理念を堅持しつつ、犬猫殺処分ゼロを目指すプロセスが大事であると答弁している。しかしながら、知事がどういったプロセスを重要と考えているのか、なかなか見えてこない部分もある。知事の思い描くプロセスとはどのようなものであるのか、示していただきたいと考えるが、所見は。

**知事** 本質的な対策としては、動物指導センターに収容される犬猫の頭数を減らす、いわゆる入口対策を推進することが重要であると考える。そのため、犬猫譲渡会を開催して譲渡を推進するなどの出口対策と併せて行っていく。

(ほかに、県立あすなろの郷も質問)

**加藤明良委員(自民)** 就学前教育・家庭教育について、議員提案による条例制定から二年間の取り組みで、その重要性が徐々に浸透してきた。今は、足場を固める時期だと考える。これまでの成果の評価と今後の取り組みは。

**教育長** 県では、市町村が家庭を個別訪問する取り組みを支援し、さまざまな課題を抱えた家庭の約七割で改善が見られるなど、取り組みの成果が着実に広がっている。今後は、社会教育の専門家である社会教育主事を中心に市町村と密に連携し、啓発やノウハウの伝達を通じて、就学前教育・家庭教育の重要性を広めていく。

(ほかに、ブランド力の向上に向けたいばらきデザインセレクションの活用推進、IBARAKI FRESH Wi-Fiの整備なども質問)

## お知らせ

今回の、令和元年第2回定例会は、6月6日から21日までの16日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
6.6	木	議会運営委員会 本会議 (開会、知事提出議案説明)
7	金	休会 (議案調査)
8	土	
9	日	
10	月	休会 (議案調査)
11	火	議会運営委員会 本会議 (一般質問・質疑)
12	水	本会議 (一般質問・質疑)
13	木	本会議 (一般質問・質疑、 議案常任委員会付託)
14	金	休会 (委員会審査準備)
15	土	
16	日	
17	月	休会 (常任委員会)
18	火	休会 (常任委員会)
19	水	休会 (産業の育成・振興に関する 調査特別委員会)
20	木	休会 (議事整理)
21	金	議会運営委員会 本会議 (委員長報告、採決、閉会)

# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

**県庁展望ロビーの改修に当たり  
どのような利用を考えているのか  
昼夜で異なる空間を楽しめる  
コンセプトで考えている**

**問** 県庁二十五階の展望ロビーの改修に当たり、どのような利用を考えているのか。

**答** 昼は来庁したビジネスパーソンが、待ち合わせや打ち合わせなど、目的や人数に応じて利用できる空間を。夜は仕事帰りの社会人やカップルが、大人の雰囲気あふれるくつろぎの空間を、それぞれ楽しんでいただくというコンセプトで考えている。

**問** 県庁内保育所の設置は、働き方改革の一環として先駆的な取り組みであるが、定員や保育士数の設定の考え方は。

**答** 定員については、職員への利用希望調査の結果を踏まえ、最大三十人を確保しておけばニーズに応えられると考えている。保育士数については、今後開所に向けて行う入所申し込み状況を把握するとともに、保育事業者などの意見を聞きながら決定していく。

**問** 県北振興チャレンジプランでは、多岐にわたる施策が講じられると聞いている。多数の部局が関係してくると思うが、どのような体制でプランを推進していくのか。

**答** 県北振興局と各部局で構成する県北振興推進会議を開



新たな活用が期待される県庁25階の展望ロビー

催している。そうした会議の場を活用して情報共有を行うとともに、各施策の効果を検証するなど、PDCAサイクル<sup>※1</sup>を回していく。

**問** 成田空港でもLCC専用ターミナルビルを整備するなど、LCC<sup>※2</sup>の誘致に向けた取り組みを行っている。茨城空港との取り合いも心配されるが、その点について所見は。

**答** 茨城空港は北関東の玄関口として、また、成田空港の補完として、コンパクトで利便性の高い空港である。そうした茨城空港の良さを全てアピールして、LCCの誘致に精一杯努力したい。(ほかに、ネーミングライツの活用、移住の促進に向けた取り組みなども質問)

## 防災環境産業委員会

**キャッシュレス決済の推進  
に向けた対応は  
導入店舗や利用者の増加  
に向けて取り組む**

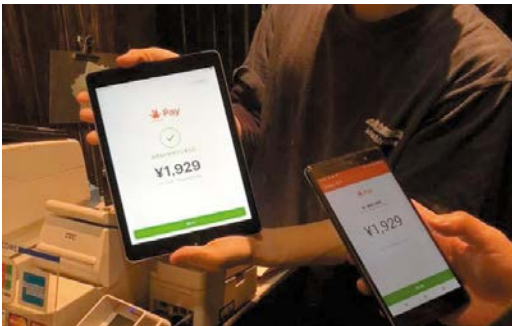
**問** 本県に来訪した観光客からは、キャッシュレス決済<sup>※3</sup>に対応している店舗が少ないとの声がある。県内においてキャッシュレス決済が進んでいないように感じるが、その対応は。

**答** 中小店舗への導入促進などのため、QRコード決済<sup>※4</sup>を活用した実証事業を水戸の梅まつりに合わせて実施した。今後は、決済事業者を含むさまざまな機関との連携を強化し、導入店舗と利用者の双方が増えるよう取り組んでいく。

**問** 霞ヶ浦流域の小規模事業者が排水基準に違反した場合の規制が、条例改正により強化される。実施に当たっては、十分な周知と丁寧な対応が必要だが、取り組みは。

**答** ささまざまな方法により、制度の周知徹底を図るとともに、事業者の相談に個別に対応していく。また、施設の更新が必要な場合に備え、無利子の融資制度の新規枠を拡充し、併せて周知を図っていく。

**問** アクアワールド大洗水族館について、夜間も楽しめるように整備が予定されている。大洗町や周辺市町村と連携し、入館者の増加などに取り組む



キャッシュレス決済の実証事業の様子

べきと考えるが、対応は。

**答** リニューアルにより年間十万人以上の入館者数の増加を見込んでいる。大洗町や地域の商工会、観光協会のほか、周辺市町村とも連携し、誘客促進や宿泊需要の拡大を図る。

**問** 水害時の逃げ遅れ防止のため、県は、住民参加により防災マップなどの作成事業を行っているが、二〇一九年度に終了予定と聞いている。継続すべきと考えるが、所見は。

**答** 水害に対する自助、共助の意識を高め、地域および住民の避難力強化を図るため、マイ・タイムライン<sup>※5</sup>などの普及啓発に努めていく。(ほかに、外国人材活躍促進事業の進め方、東海第二発電所の安全対策なども質問)

## 保健福祉医療委員会

**茨城県男女共同参画推進条例の改正  
に当たり理解増進が重要では  
二〇一九年度以降、継続して  
理解増進に努める**

**問** 茨城県男女共同参画推進条例改正案について、性的少数者への理解を増進し、差別意識を解消するという改正目的は理解できる。一方、差別は無理解から生じるものと考えられるため、まずは差別に対する理解の増進に注力することが重要ではないか。

**答** 理解増進は重要と考えている。新年度予算でLGBT<sup>※6</sup>に優しい県づくり事業で計上している啓発や相談体制整備を優先しながら、当事者の生活上の困難を解消する施策を幅広く検討していく。

**問** 犬猫殺処分頭数を減らすためには、県が主体的に団体などの連携を強化し、犬猫の譲渡会を、より大々的に行うべきではないか。

**答** これまで公示していなかった犬猫の写真も公示するほか、収容頭数をさらに減らすべく入口対策に力を入れる。

**問** 医療的ケア児と家族の生活実態を踏まえた福祉施策の充実が求められている。茨城県医療的ケア児支援体制協議会で検討された主な支援策は。

**答** 協議会から小児在宅医療を支える病院の不足、医療型短期入所施設などの地域偏在、



犬猫殺処分ゼロを目指す啓発ポスター

医療的ケア児を受け入れる保育所の不足といった意見をいただき、その一部を新年度予算に反映した。今後も協議会意見を踏まえ、医療的ケア児と家族の支援につなげていく。

**問** 本県は小児科医師数が全国最下位とのことだが、その要因は。また、医師確保に向けて、どう取り組むのか。

**答** 医学部が県内に筑波大学一校しかないことが大きな要因と考えられる。今後、地域枠医師が増加する見込みなので、魅力的な研修プログラムの作成といった後期研修の充実による専攻医確保、女性医師の働きやすい環境の整備などの対策を続けていく。(ほかに、待機児童対策、保健所再編対応策なども質問)

※1【PDCAサイクル】…Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取ったもの。計画から改善までを一貫して行い、さらにそれを次の計画、実行に反映しようとする事業手法。  
 ※2【LCC】…Low Cost Carrierの頭文字を取った略称であり、低コストかつ高頻度の運航を行うことで、低運賃の航空サービスを実現する新たなビジネスモデルを採用した航空会社のこと。  
 ※3【キャッシュレス決済】…クレジットカードや電子マネーなどを用いて、現金のやりとりなしで支払いをする決済方法。



営業戦略農林水産委員会

県総合計画に掲げる農家の所得向上の実現見通しは  
経営者意識の醸成や生産性向上などにより達成を図る

問 県総合計画では、十年後に販売農家一戸当たりの生産農業所得を千百万円にするこ

答 いばらき農業アカデミーにより農業者の経営者意識を醸成するとともに、農地集積・集約化やスマート農業導入な

問 本県は農業県であり、農業教育でも先進県を目指すべきと考える。いばらき農業アカデミーの現状や、担い手育成の今後の取り組みは。

答 アカデミー受講生は年間五千人を超え、当初の目標以上に好評な状況である。担い手が減少する中、農地の集積・集約化による規模拡大、法人化による雇用の拡大、企業の参入が必要と考えており、そのための施策を講じていく。

問 いばらき大使はどのような活動を行っているのか。もっと活躍してもらおうよう、それぞれの活動に合わせて見直しも必要なのではないか。

答 現在約百八十名を委嘱しており、県産品のPRイベントなどに協力いただいている。タレントの大使はテレビなどの露出が多いが、どのような形でPRを行っているかどうかを含めて、任期の更新時などに見直しを行っていききたい。



いばらき農業アカデミー「先進農業技術講座」の様子

土木企業委員会

借楽園の魅力向上に向けた今後の対応は  
検討や取り組みを丁寧の説明していく

問 借楽園有料化のための実証実験の実施については、二転三転しており、丁寧な説明が必要であったと感じる。借楽園の魅力向上という目指す方向は同じである。今後の対応を含め、所見は。

答 実験に当たり説明が不足し、混乱を招いた。今後、実証実験の結果を精査し、有料化のさらなる検討を進めていく。併せて、丁寧な説明を心掛けながら、引き続き、借楽園の魅力向上に取り組む。

問 海に面した茨城では、釣りや観光資源として活用するべきである。防波堤などの港湾施設に、新たな釣り園の開設を期待するが、所見は。

答 本県のように荒波を受け用する場合、相当な安全対策が必要となる。国のガイドラインでは、「地元市町村が主体となつて合意形成を図ることが重要」とあり、まずは、地元の機運醸成が重要と考える。

問 公共工事の稼働状況は特定の時期への偏りがあり、人材不足などの一因になっている。発注の平準化や適切な工期設定が必要と考えるが、どう対応していくのか。

答 閑散期となる第一・四半期の工事稼働量が確保できるよう、ゼロ債務負担行為<sup>※1</sup>の設定や、余裕期間制度<sup>※2</sup>の適用により平準化に努める。また、繰越制度を活用するなど、適正な工期の設定に努める。

問 県南西工業用水の料金は、他の地域と比較して高くなっている。将来的に料金格差を埋めることは可能か。

答 県南西工業用水は投資効率が悪く、維持管理費も割高なため料金が高い。値下げには収入増が必要であり、企業訪問などによる契約水量の増量、経費削減による料金の抑制に努める。

(ほかに、用地取得困難箇所、右折レーンの設置基準と今後の対応なども質問)



借楽園ライトアップ(光の散歩道)

文教警察委員会

横断歩道での一時停止率向上への取り組みは  
歩行者保護意識の啓発を図っていく

問 横断歩道での歩行者横断時における車両の一時停止は、マナーではなく義務である。停止率向上に向け運転者への啓発にどう取り組むのか。

答 交通指導取り締まりや、免許更新時などの機会を捉えた交通安全教育のほか、関係団体とも連携し、歩行者保護意識の啓発に取り組んでいく。

問 児童虐待事案の発生が続く中、県警察には命を守る対応を願いたい。これまでの対応状況は。

答 社会の関心の高まりもあり認知件数、検挙件数、通告人数は増加傾向にある。平成三十年に開始した県から県警察への全件情報提供のうち、百十一件が児童の生命・身体に重大な危害が及ぶ恐れのある情報であった。警察では必要な捜査を積極的に行い、検挙の措置を講じていく。

問 公立ならではの中高一貫校の特色を示すとともに、保護者目線も大切に、市町村との連携を深めつつ地元で活躍する人材の育成にも取り組んでもらいたい。所見は。

答 保護者の意見にも配慮し、グローバルな人材の育成といった視点を持ちつつ、市町村教育委員会との連携も図るなど、ローカルな視点も大切にして中高一貫教育を進めていく。

問 家庭の教育力向上などの取り組みを進めてきた中、就学前教育・家庭教育推進室を生涯学習課内室とする組織改編は後退感が否めない。今後どう取り組んでいくのか。

答 学校と家庭・地域をつなぐ社会教育主事との連携を一層強化するとともに、訪問型家庭教育支援事業などの積極的な広報に努め、県民や市町村へ取り組みを広めていく。組織体制は今後の取り組みを検証し在り方を考えていく。

(ほかに、警察施設の建て替え、教職員の懲戒処分なども質問)



横断歩道における一時停止率向上の推進を

※1【ゼロ債務負担行為】…債務負担行為(例えば複数年にわたる契約の締結のように、将来にわたる債務を負担する行為)のうち、契約初年度の支出はゼロとし、全額を翌年度以降の支出とするもの。これにより、前年度に契約手続きを済ませて、年度当初から工事の着手が可能になる。  
※2【余裕期間制度】…発注者が指定する一定期間内、受注者が工事開始日を選択できる制度。

# 各会派 基本方針

## いばらき自民党



いばらき自民党  
議員会長

葉梨 衛

### 新しい時代の 茨城づくりに決意

いばらき自民党は、昨年暮れの改選においても絶対安定多数を維持しました。県民の皆様から寄せられた温かいご支持の賜物であり、心より感謝申し上げます。歴史的な皇位継承による「令和」という新しい時代の幕開けを前に、所属議員三十八名は改めて県民の負託に応える決意を新たにいたしました。

新生県議会は先の第一回定例会で本格始動し、大井川知事が「まかれた種から徐々に出始めている芽を大きく育てる予算」と強調した新年度予算案などの審議を通して、「新しい茨城づくり」の第一歩を踏み出しました。

人口減少が急速に進む中であって、茨城の輝かしい未来を実現していくため、県の総力を挙げて地方創生に取り組みとともに、県民の安全安心を確保して、本県発展に向けた施策の着実な推進を図ることを第一に挙げています。私たちには前期も、四月一日に施行された子どもを虐待から守る条例など、政策条例七本を制定した実績があります。全国トップレベルの取り組みであり、今期も既に、いじめ防止に関する条例案の策定作業を進めています。

今後とも、こうした政策立案機能を大いに発揮するなど、政務活動の一層の活性化はもとより、二元代表制の下、大井川県政に対しては是非々々で臨み、新たな県総合計画が基本理念に掲げる「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現にチャレンジするなど、県勢の発展と県民福祉の向上に努めてまいります。県民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 県民フォーラム



県民フォーラム  
代表

齋藤 英彰

### 生活者・働く者の 視点で政策の実現を

昨年十二月の改選において、県民の皆様のご支援を賜り、新たな仲間を加え改選前と同様の五名体制で新たな任期がスタートしました。私達は本会議をはじめ、各委員会において政策要望の実現と県民の負託に応える活動を進めて参ります。少子高齢化、人口減少、格差社会が進展する今日において地方が安定した成長

を遂げるためには、地方議会の担う役割はこれまで以上に重要なものであり、地域に寄り添ったきめ細やかな行政サービスが求められます。私達は「生活者」「働く者」の立場に立ち県民が安心して暮らせる共生社会の創造を目指し、地域に根差した政策の実現と地方分権型社会の構築に向け積極的に取り組んで参ります。そのために、「自由」「共生」「未来への責任」を掲げ、マニフェストに示した十のテーマと具体的な政策の実現に向け、行財政改革、労働環境の整備、地域医療の充実、産業の活性化、子育て環境の整備等に地域の声とともに取り組んで参ります。今後とも、県民の安心安全、豊かな生活の実現に会派一丸となって県政発展に取り組む所存ですので、引き続き県民の皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

## 自民県政クラブ



自民県政クラブ  
代表

半村 登

### 県民の目線に立ち 全力で取り組む

昨年十二月の県議会議員選挙では、県民の皆様のご支援を賜り、四人の議席を頂きました。ご支持を頂きました県民の皆様は改めて心より厚く感謝を申し上げますとともに、今後とも身を引き締め、責任の重さをかみ締め、議員活動を進めてまいりたいと思

います。さて、我が国は、急速に人口減少や少子高齢化、東京圏への過度な一極集中が進行しており、本県においても若者の県外への流出は深刻であります。私たちが自民県政クラブでは、次世代を担う子どもたちのために何を残していくべきかを考え、未来への責任を果たすとともに、県民の皆様のご生活を第一に、医師不足問題の解決や介護人材の確保をはじめ、雇用対策や農業の生産性向上、グローバル社会における多文化共生社会の構築、東日本大震災や関東・東北豪雨災害などを踏まえた強靱な県土づくりなど、県民の目線に立つて、力の限り取り組んでまいります。今後とも、県民の皆様の声に耳を傾け、会派としての責任と役割を果たしてまいります。

## 公明党



公明党  
議員 会  
代表

高崎 進

### 県民に寄り添い 小さな声も政治に反映

昨年十二月の県議選では、改選前と同様の四議席を獲得することができました。県民の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。急速な人口減少・少子高齢化の進行など、これまでに経験したことのない時代の転換期を迎える中、茨城県が大きく飛躍できるかどうかは、今後の十年間が極めて重要な期間になってまい

ります。茨城県では、この時代の変化に的確に対応し、未来に希望を持つことができる「新しい茨城」づくりを県民とともに推進していくため、平成三十年からの県政運営の指針となる新たな県総合計画を策定しました。この県総合計画には、公明党が強調したSDGs（持続可能な開発目標）が県政運営の基本理念として位置付けられました。二〇一五年に国連サミットにおいて採択されたSDGsは、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会及び環境をめぐる広範な課題に対して統合的に取り組むこととしていきます。公明党は、県民に寄り添い小さな声も政治に反映し「住んでいる人が日本一幸せな県・いばらき」づくりに全力を尽くしてまいります。

## 新自民クラブ



新自民クラブ  
代表

坂本 隆司

### スピード感をもって 政策を実現

私たち三名「坂本隆司（龍ヶ崎市・利根町選挙区）、沼田和利（牛久市選挙区）、村田康成（神栖市選挙区）」は、昨年十二月の茨城県議会議員選挙において、県民の皆様のご支援をいただき、初当選させていただきました。改めて心より厚く感謝申し上げます。今回私たちは、いばらき自民党の諸先輩方のご指導の下、新人議員三

名で「新自民クラブ」を結成することとしました。三名の新人議員共に地元で市議会議員を経験し、年齢も全員四十代ということもあり、初登庁以来意見交換する中で向かう方向が同じことが多いことや政治理念が一致することも重なり、会派結成にいたしました。これからの茨城県における人口減少問題、少子高齢化問題に迅速に対応するためにはスピード感をもって政策を実現することが最も重要だと考えます。しかし新人議員だけでは物事は進みません。そこで私たちは、いばらき自民党の皆様にご指導をいただきながら、若さと行動力をもって活動してまいります。県民の皆様の声を大切に、そして茨城県が飛躍するよう努力してまいりますので、県民の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

### 高校生の議会傍聴を受け入れています

選挙権年齢の引き下げに伴い、主権者教育の重要性が高まっている中、茨城県議会では議会改革の一環として、平成27年第4回定例会以降、全ての定例会で高校生の議会傍聴を受け入れています。

教育庁などと連携して行うこうした取り組みは、他の都道府県に先駆けて始まったものであり、これまでに全国でもトップクラスの高校生傍聴者数を記録しています。

詳細については、県議会事務局議事課（電話：029-301-5634）にお問い合わせください。



本会議を傍聴するつくば工科高等学校の生徒

## 消費税10%中止、 原発ゼロの茨城を



日本共産党  
茨城県議会議員  
山中山中 たい子

日本共産党

家計消費も実質賃金も減るもとで、消費税10%への増税は中止させましょう。  
県が昨年実施した「県政世論調査」では、「医療体制の充実」が県政要望のトップです。「高齢者の医療・福祉サービス、子育て環境の充実」も強い要望です。この願いに応えることが県政の最優先課題です。なめがた地域医療センターについて、現

体制の存続を求める二万筆の住民署名に応え、県はその役割を果たすべきです。  
県民世論を反映し、「原子力安全対策の徹底」が新たに県政要望に加わりました。この願いに逆らい、日本原電は東海第二原発の再稼働をめざすと表明しました。大地震が想定される場所に立地している東海第二原発の再稼働中止・廃炉に向けた共同を掲げます。  
新年度は企業やホテルの誘致に補助する他、常陸那珂港の建設、八ッ場ダムや霞ヶ浦導水事業などムダな公共事業が目白押しです。  
児童相談所・一時保護所の増設や公共交通の拡充、通学路の整備など、くらし・福祉第一を貫きます。本県農業を支える家族農業を柱に農業の振興をすすめます。  
九条改憲NO！憲法を守り生かすために力をつくします。

## 県議会を 傍聴しませんか

本会議は、県議会議事堂5階の受付で住所と氏名を記入すると傍聴できますので、ぜひお越しください。

また、児童および乳幼児連れの方は、県議会議事堂1階の議会PRコーナーと5階の傍聴者ロビーで本会議の中継をご覧いただけます。

なお、授乳室やおむつ替えスペースをご希望の方には部屋をご用意いたしますので、職員にお気軽に声をお掛けください。

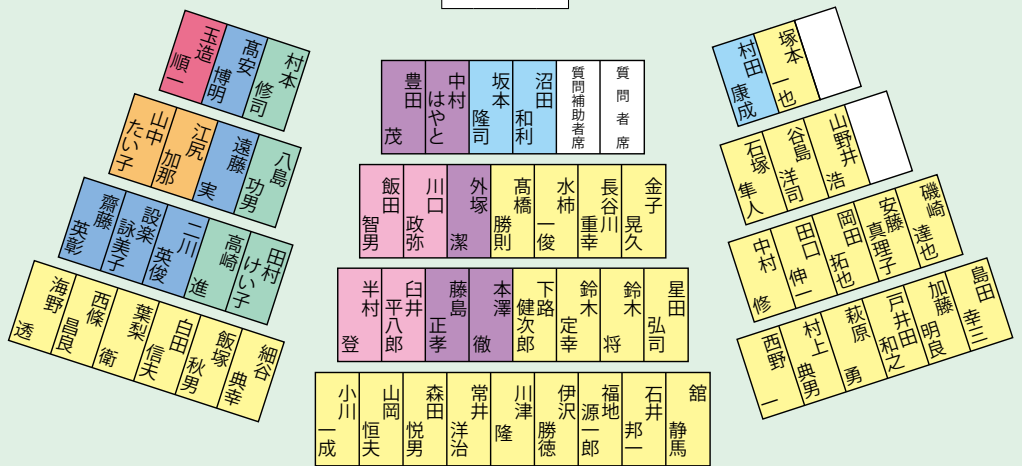
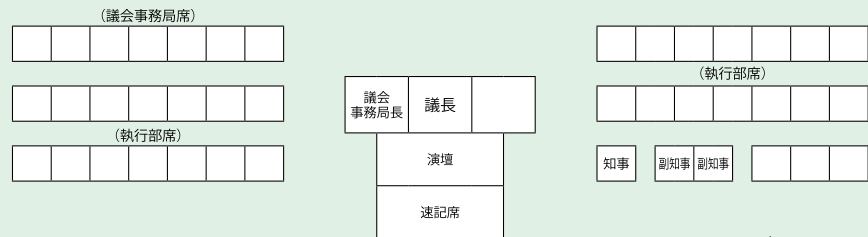
その他、手話通訳や委員会の傍聴など詳細については、県議会事務局議事課にお問い合わせください。

お問い合わせ先

電話 029-301-5634

### 茨城県議会 議席表

(平成31年  
2月27日現在)



いばらき自民党 (38名) 県民フォーラム (5名) 自民県政クラブ (4名) 公明党 (4名)  
新自民クラブ (3名) 日本共産党 (2名) 立憲民主党 (1名) 無所属 (5名) 計62名

## 今定例会で可決された議案

### 議員提出

○天皇陛下御即位三十年に際しての賀詞奉呈について  
知事提出

### ◆平成三十一年度当初予算関係

○一般会計予算(一件)

○特別会計予算(十三件)

○企業会計予算(六件)

### ◆平成三十一年度補正予算関係

○一般会計予算(一件)

○特別会計予算(十三件)

○企業会計予算(六件)

### ◆条例の制定・廃止

○消費税及び地方消費税の税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例

○鹿島セントラルモールの設置及び管理に関する条例を廃止する条例

### ◆条例の一部改正

○茨城県行政組織条例の一部を改正する条例

○職員の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例

○職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県資金積立基金条例の一部を改正する条例

○茨城県手数料徴収条例の一部を改正する条例

○茨城県復興産業集積区域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

○茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

○茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例

○茨城県霞ヶ浦水質保全条例等の一部を改正する条例

○茨城県復興産業集積区域における県税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

○茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

○茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例

○茨城県霞ヶ浦水質保全条例等の一部を改正する条例

○茨城県固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

○茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

○茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例

○茨城県霞ヶ浦水質保全条例等の一部を改正する条例

○茨城県固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

○茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

○茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例

○茨城県霞ヶ浦水質保全条例等の一部を改正する条例

○茨城県固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

○茨城県立県民文化センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

○水道法に基づき専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例

○茨城県男女共同参画推進条例の一部を改正する条例

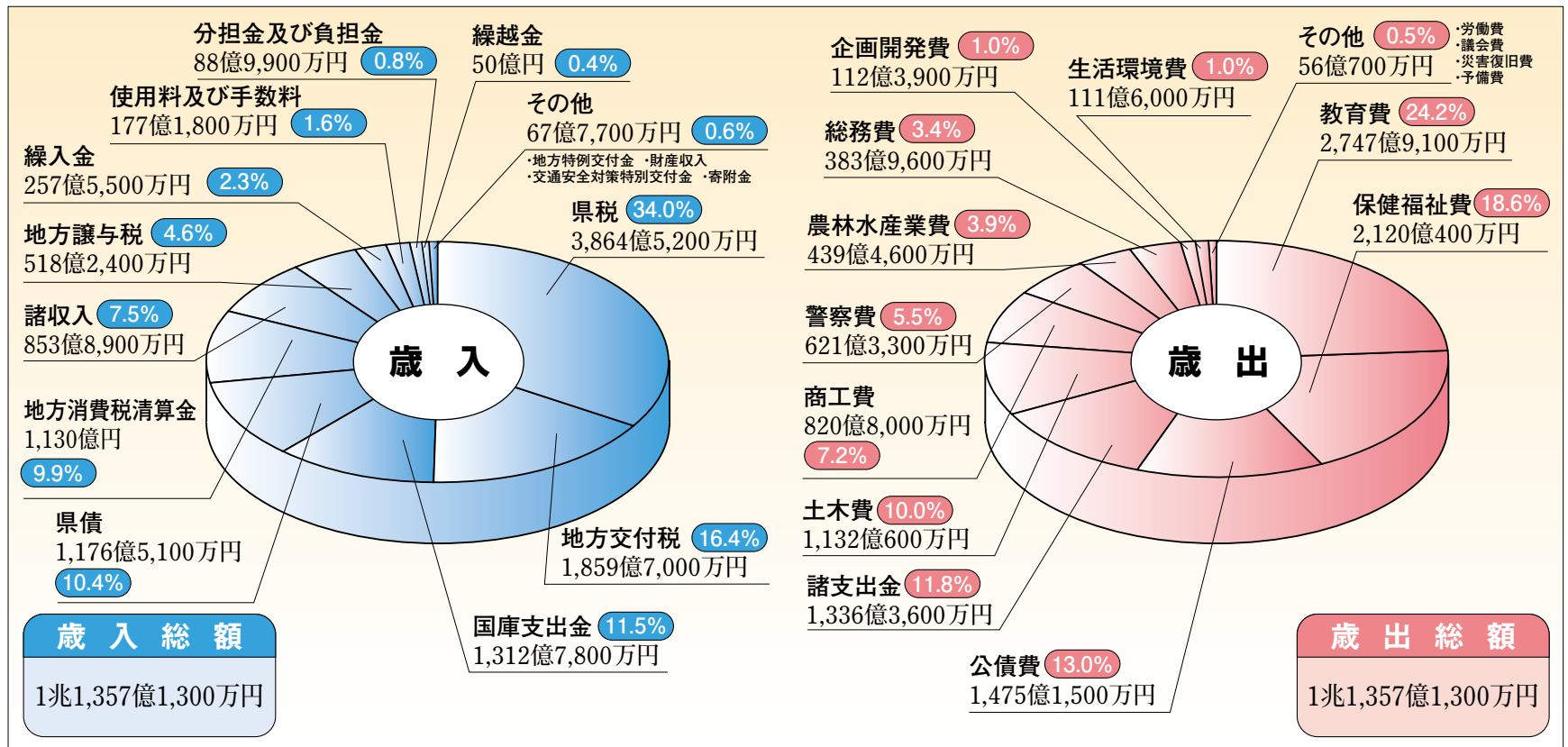
報告  
地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

ほか十二件

人事  
教育委員会委員の任命について  
公安委員会委員の任命について

ほか十三件

## 平成31年度一般会計予算※3の内訳



## 主な事業

### 1 「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業  
IoT・AIなどの新たなテクノロジーを活用した新ビジネス創出支援 1億500万円
- つくば創業プラザ分室整備関連事業  
ベンチャー企業の創業促進と利便性向上を図るためのインキュベーション施設の整備・運営 9,200万円
- つながる茨城チャレンジフィールドプロジェクト事業  
東京圏のフリーランスIT人材などと県内地域をつなぐプラットフォームの構築 8,800万円
- 外国人材活躍促進事業  
外国人材を確保するための外国人材支援センター(仮称)の設置 7,500万円
- わくわく茨城生活実現事業  
東京圏から本県への移住者に対する移住支援金の支給 5,100万円
- いばらきグローバルビジネス推進事業  
海外販路拡大などにチャレンジする中小企業・農業者に対する支援 2億1,500万円
- いばらき農林水産物トップブランド育成事業  
本県産梨・豚肉のトップブランド化に向けたPRの強化 5,500万円
- いばらきオーガニックステップアップ事業  
県北地域における大規模有機モデル団地の整備に対する支援など 1億700万円
- 市町村森林整備等バックアップ事業  
森林環境譲与税を活用した森林の経営管理を行う市町村への支援 5,200万円
- ICTを活用した業務改革推進事業  
RPA※1やAI導入による県庁業務の効率化・省力化の推進 6,800万円
- 庁内保育所設置運営事業  
県職員の働き方改革を推進するための庁内保育所の設置・運営 7,300万円

### 2 「新しい安心安全」へのチャレンジ

- ICT活用による医療体制強化支援事業  
遠隔治療サポートシステムおよび遠隔画像診断治療補助システムの導入支援 7,300万円
- 県外からの医師確保強化事業  
医科大学との新たな協力体制の構築や寄附講座設置などによる医師の確保 2億400万円
- 地域医療支援センター事業  
地域医療支援センターの運営による医師キャリアの形成支援など 1億1,700万円
- 介護人材確保育成事業(チャレンジ・シニア参加促進事業分)  
介護分野において働く意欲のあるシニア層に対するOJT研修の実施 2,000万円
- 重度心身障害者医療費助成事業(拡充分)  
医療費助成の対象に精神障害者保健福祉手帳1級保持者を新たに追加 1億2,300万円
- 茨城助け合い運動推進事業  
地域課題の解決に向けた取り組みを行うNPOなどに対する支援など 6,100万円
- 警察署等建設整備事業  
老朽化した太田警察署の移転建て替えに向けた基本設計など 2,900万円
- 防災対策調査・普及啓発等事業  
避難用バスなど配車オペレーションシステムの開発、市町村広域避難計画の策定支援など 1億2,800万円

### 3 「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 県立高等学校改革プラン推進事業  
県立中高一貫教育校10校を設置するために必要な教室などの整備 6億3,600万円
- 図書館魅力向上推進事業  
県立図書館のサービス向上のためのネット予約貸し出しサービスやカフェスペースの整備 3,400万円

- 多子世帯保育料軽減事業  
第3子以降で3歳未満の子どもの保育料に対する軽減措置における所得制限の廃止 5億7,100万円
- 施設型給付費負担金  
認定こども園などの利用料無償化に係る経費や運営費の支援など 129億円
- 子育て支援施設等利用給付費負担金  
認可外保育施設などの利用料無償化に係る経費の支援など 4億700万円
- 児童相談所の運営強化関連事業(茨城県子どもを虐待から守る条例対応分)  
児童相談所への職員配置の増などによる児童虐待対応体制の強化 3,600万円

### 4 「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 茨城県フラワーパークリニューアル関連事業  
フラワーパーク魅力向上計画に基づく観光拠点としてのリニューアル工事など 1億9,900万円
- 県北ニューツーリズム推進事業  
県北地域に点在する多様な地域資源をつないだ新しい滞在・体験型ツーリズムの推進 1,000万円
- いばらきサイクルツーリズム等推進事業  
各地域の特色を最大限に生かしたサイクルツーリズムの全県的な推進 1,200万円
- 県民文化センターコンベンション機能強化事業  
県民文化センターの利用率向上や地域活性化のためのコンベンション※2機能強化 2億9,900万円
- 県庁舎維持管理事業(県庁舎展望ロビー改修分)  
行政棟展望ロビーのより一層の利活用促進のための改修 6,100万円
- 全国都道府県対抗eスポーツ選手権大会事業  
全国初「都道府県対抗eスポーツ大会」の本県予選会および本大会の開催 4,000万円
- 都市間高速バスネットワーク強化事業  
水戸・つくば両都市間の交流・連携の活性化に向けた高速バス増便実証実験 5,800万円

※1【RPA】…Robotic Process Automationの略語。ソフトウェアロボットを活用することにより、業務の効率化を目的として、定型的な事務作業を自動化すること。  
 ※2【コンベンション】…学会や産業団体、行政機関等が開催する国際会議などの大規模な会議や人の集まりのこと。  
 ※3【平成31年度一般会計予算】…本号は4月28日発行のため、改元日以降は「令和元年度」となる。